

猛毒キノコ「カエнтаケ」にご注意ください！

東ヶ丘公園内で、**猛毒キノコ「カエнтаケ」**の自生が確認されました。

「カエнтаケ」の毒性は強く、誤って食べてしまうと、**死に至る可能性がある大変危険なキノコ**です。

また、触っただけで皮膚の炎症を起こすことがありますので、見つけても、**絶対に触ったり、食べたりしないでください。**

◆ 東ヶ丘公園で自生していた「カエнтаケ」の写真



◆ 「カエнтаケ」の特徴

色と形、大きさ	表面はオレンジ色から赤色。細長い円柱状または棒状で、土から手の指が出ているように群生または単生する。中は白く、硬い
発生時期	夏から秋
発生場所	ブナ、コナラなどナラ類などの広葉樹林の地上に群生して発生する。
症状	食後 30 分から、発熱、悪寒、嘔吐、下痢、腹痛、手足のしびれなどの症状を起こす。2 日後に、消化器不全、小脳萎縮による運動障害など脳神経障害により死に至ることもある。
毒成分	トリコテセン類： 毒性は強く、食べても、触っても毒である。死亡例あり。 (注意)見た目は気味が悪く、食用に見えないが、薬用と勘違いして酒に浸して飲んで中毒が起き、死亡した例がある。

出展：厚生労働省ホームページ